



名古屋大学 COI-NEXT  
マイモビリティ共創拠点

みんなの  
「行きたい」「会いたい」「参加したい」  
をかなえる超移動社会



国立研究開発法人科学技術振興機構  
共創の場形成支援プログラム (COI-NEXT) 地域共創分野

# みんなの「行きたい」「会いたい」「参加したい」 をかなえる超移動社会



## マイモビリティ共創フィールド

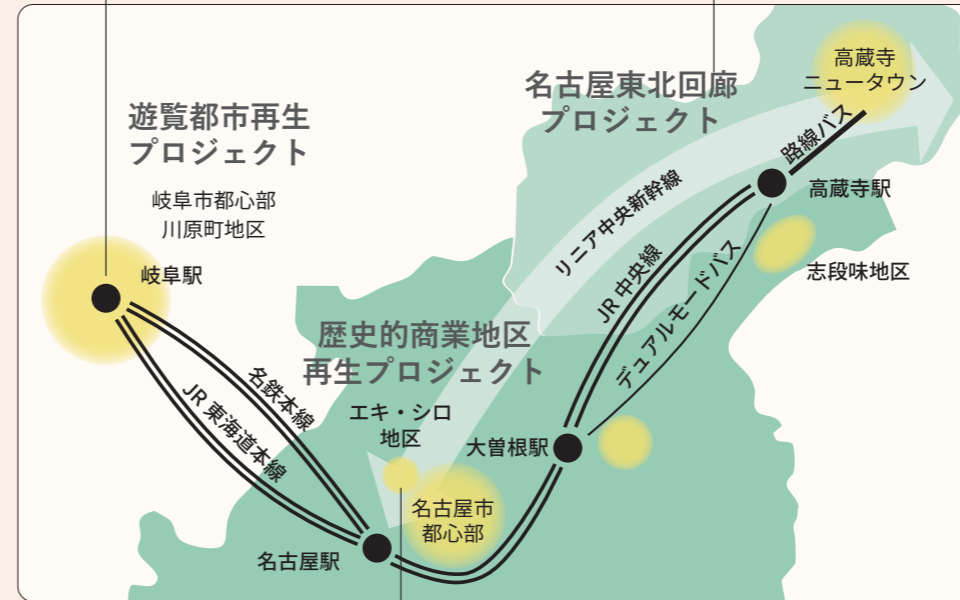
東海地域を中心に、ビジョン実現のための共創フィールドを展開しています。3つのプロジェクトを軸に、将来的には東海地域から全国へ発信・展開することを目指します。

### 岐阜県岐阜市 岐阜市遊覧都市再生プロジェクト

「遊覧都市」構想を自動運転バスにより再生し、都市全体の魅力を高める地域イノベーション

### 愛知県名古屋市・春日井市高蔵寺ニュータウン 名古屋東北回廊プロジェクト

名古屋駅と春日井市高蔵寺ニュータウンを結ぶ回廊地域における、自動運転やバスの高度化、オンデマンド乗合交通、MaaSなどを組み合わせた地域イノベーション

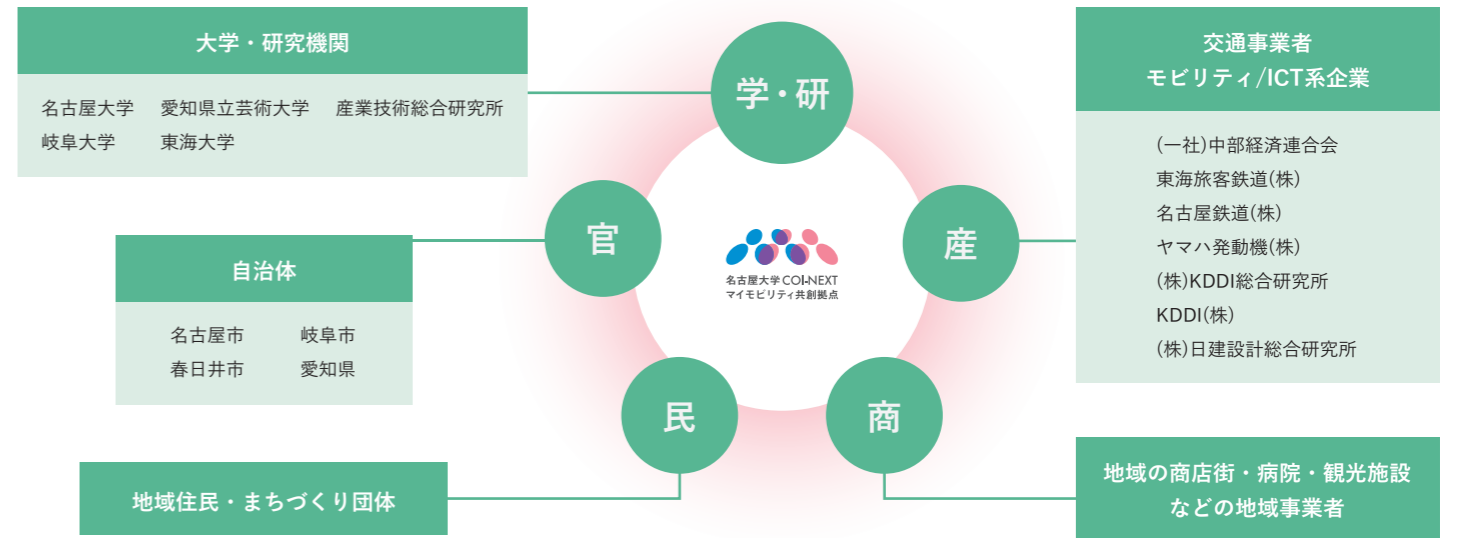


### 愛知県名古屋市「エキ・シロ地区」 歴史的商業地区再生プロジェクト

名古屋駅と名古屋城の間にある歴史的商業地区「エキ・シロ」における、移動の価値を高める技術を組み入れた自動運転などの先進モビリティの導入による地域イノベーション

## マイモビリティ共創プラットフォーム

本拠点では、大学・研究機関や交通事業者、モビリティおよびICT系企業、自治体のほか、地域の商店街・病院・観光施設などの地域事業者、そして地域の住民といった多様なステークホルダーを巻き込んだ共創プラットフォームを構築しています。



### ターゲット 1

地域モビリティ充実による  
社会参加機会とビジネスチャンスの増加

### ターゲット 2

移動ストレスが減り、移動が楽しくなり、  
社会的コストも最小化する  
地域モビリティシステムの実装

### ターゲット 3

「東海地域モビリティモデル」の  
確立と他地域への発信・展開



本拠点では、マイカーを使わない人でも社会参加機会に公平にアクセスできる超移動社会の実現を目指しています。東海地域だけでなく我が国のほとんどの地域はマイカー依存型の交通システムのため、自動車の過剰な利用による社会的コストが高く、マイカーを利用しない(運転できない、したくない)人にとっては、日常的移動が困難で、活動の機会が奪われている状況といえます。そこで、先進技術の利用とビジネスモデルの変革、そして地域移動に対する人々のマインドセットの変容によって、移動ストレスを減らすだけでなく、移動が楽しくなり、社会的コストも最小となる地域モビリティシステムを構築し、社会参加機会やビジネスチャンスを増加させることで、持続的な地域創生を進めます。

## ご挨拶

地域公共交通は衰退の一途をたどり、マイカーを使わない地域内の移動がますます困難になっています。本マイモビリティ共創拠点では、自動運転などの新しい技術とビジネスモデルチェンジによって、まったく新しい地域モビリティを開拓します。

### プロジェクトリーダー (PL)

国立大学法人東海国立大学機構  
名古屋大学未来社会創造機構  
モビリティ社会研究所  
教授 **森川 高行**



# ビジョン実現のための研究開発

日常生活圏内の移動、すなわち「地域モビリティ」の革新と維持のためには、自動運転などの先進技術を活用した低コスト・高品質なサービスの提供だけでなく、公共交通の採算性問題を解決するビジネスモデルチェンジが必要です。本拠点ではこれらを実現するための5つの研究開発課題に取り組んでいます。

## 地域モビリティを持続可能に

地域モビリティサービスを持続可能にするビジネスモデルチェンジ

持続可能な地域モビリティの実現を目指し、マイモビリティ / マイタウンビジネスモデルの構築や、スマートモビリティ公共財プラットフォーム構築に向けた政策提言を行います。

#地域公共交通 #住民主体 #じぶんごと意識 #運営手法検討  
#スマートモビリティの公共財化 #制度設計

### マイモビリティ/マイタウン



### 公共財プラットフォーム



## 快適な移動のために

快適で低コストな地域モビリティシステムの開発

地域の二次・三次交通のサービスレベルを格段に向上させる先進的な地域モビリティシステム（ドアツードア中量輸送システムや自動運転バス、個人向け自動運転車）を構築します。

#ドアツードア中量輸送システム (Personal Rapid Transit : PRT)  
#新路面公共交通システム (Smart Roadway Transit : SRT)  
#ガイドウェイバス #自動走行小型地域モビリティ #先進的バスシステム

### ドアツードア中量輸送システム (Personal Rapid Transit : PRT)



### ガイドウェイバス



### 自動走行小型地域モビリティ



## 移動をICT技術で楽しく

移動価値を高める多感覚インフォテインメントシステムの開発

移動中もその状況や情報を活かした体感的コンテンツを提供し、移動をストレスから楽しみに変える、多感覚インフォテインメントシステムを開発します。

#3D地理情報 #サイバー・フィジカル #ライフコンテンツ  
#超高速情報通信 #マルチモーダル・インタフェース



## 社会受容性

総合知の活用による社会的価値の評価と社会実装の推進

先進モビリティのシステムが社会に及ぼす影響の客観的評価と、システムが円滑に運営されるための法制度整備に取り組みます。

#well-being 評価  
#移動のストレス評価  
#法整備 #道路交通法  
#道路運送車両法 #道路運送法

### well-being評価



### 法制度整備



## 先進技術の実装

漸進的地域創生と応答型研究開発を進めるフラッグシッププロジェクト

先進技術、制度改革、マインドセット変容からなる研究開発事項を実プロジェクトの中で実証し、新たな課題を研究開発事項にフィードバックしていき、同時に地域創生を進めます。

#まちづくり #価値共創 #オープンイノベーション



円頓寺商店街の自動運転実証実験



岐阜市川原町の自動運転実証実験



春日井市高蔵寺ニュータウン NPO法人による地区内自動運転サービスの運行

# 活動拠点・研究基盤

## NIC National Innovation Complex

ナショナル・イノベーション・コンプレックス

アンダーワンルーフで新しい未来の実現を目指します

名古屋大学東山キャンパスに立地するナショナル・イノベーション・コンプレックス(NIC)は、名古屋大学の強みであるモビリティに関する実験設備・機器を整備しており、イノベーション実現のための「場」を提供しています。本拠点は、名古屋大学COI(2021年度終了)における経験を活かし、日本最大級の総合的モビリティ研究機関「モビリティ社会研究所」のメンバーを中核に、中部圏を世界有数の「次世代モビリティ産業地域」にすることを旨とする中部経済連合会や中部地方の二大交通事業者、そして自治体と密に連携し、「地域モビリティイノベーション」創出に向けた拠点活動を推進しています。



### お問い合わせ

名古屋大学 未来社会創造機構 プロジェクト統括室  
〒464-8601 名古屋市千種区不老町  
TEL : 052-747-6765  
E-mail : info-mymobi@mirai.nagoya-u.ac.jp

名古屋大学 COI-NEXT  
地域を次世代につなぐマイモビリティ共創拠点  
<https://mymobi.mirai.nagoya-u.ac.jp/>

Web サイトはこちら



### プロジェクト参画機関募集中

名古屋大学COI-NEXT マイモビリティ共創拠点では共にビジョン実現を目指す仲間を募集しています!

#### 対象者

- ・地域のモビリティに課題を抱えている団体、自治体
- ・拠点の活動に参加したい事業者、研究開発機関